

## 木津川市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」「総合戦略」に係るパブリックコメント実施結果（提出意見及び市の考え方）

1 公表期間 9月7日から10月6日まで

2 計画（案）に対する意見の提出結果 5件（10項目）

3 提出された意見及び市の考え方（なお、ページ欄における（●◇）は、修正案のページ数を記載しています。また、提出意見については、要約して記載しています。）

No.	計画案での該当場所			種別	提出意見	市の考え方	反映
	章	項目	ページ				
1	2 木津川市人口 ビジョン	3.1.1 総人口及び男女別人口 の推移	2-4◇  (11◇)	意見	「平成26年時点での高齢化率は、21.2%・・・」とあるが、下に記載する図表には、平成27年度の数値しか示されていない。	平成27年1月1日における数値及び国の数値との比較図を追記しました。	○
2	2 木津川市人口 ビジョン			提案	2040年（H52）や2060年（H72）などの表記があるが、西暦表示とした方が良いのでは。	人口ビジョンでは、西暦のみの記載に修正します。	○
3	2 木津川市人口 ビジョン	3.4 昼夜間人口比率の推移 3.5 通勤・通学先の推移	2-17◇  (23◇)	意見	昼夜間人口比率の上昇要因として、市内を通勤・通学先とする傾向としているが、2-18◇図3-19木津川市への通勤・通学者の居住地比率では、木津川市の割合が減少しており、整合していない。	23◇ 3.4 昼夜間人口比率の推移の文言を「昼間人口及び夜間人口はともに増加傾向にあり、昼夜間人口比率※は近年増加傾向に転じています。これは、生産年齢人口割合の低下や、高齢者数の増加等により、昼間人口が増加した影響を受けたものと推測されます。」に修正します。	○
4	2 木津川市人口 ビジョン	3.6.1 就業者数と就業率の推移	2-19◇  (25◇)	提案	就業者数は増加しているが、就業率が減少していることが、理解しにくい。図3-21 就業者数と就業率の推移に、15歳以上人口の推移を記載してはどうか。	15歳以上人口を追記します。	○
5	2 木津川市人口 ビジョン	5.1.2 調査実施概要	2-27◇  (33◇)	提案	アンケート調査について、どのような質問をしたのか、概要を示すべきである。	表5-1について、「調査の設計」を「調査の概要」に修正し、調査の質問内容を追記しました。	○
6	3 木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略	4 市総合戦略の体系	3-2◇  (48◇)	意見 提案	戦略スローガンについて、本編と【概要版】との整合が取れていない。また、このスローガンの意味を記載すべきである。	本編の戦略スローガンについて、「子ども育マチ・きづがわいい」に修正します。 また、戦略スローガンの意味・思いを追記しました。	○

No.	計画案での該当場所			種別	提出意見	市の考え	反映
	章	項目	ページ				
7	3 木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略	6 基本目標ごとの具体施策	3-4 頁 (51 頁)	意見	用語集に記載する記号と出典を示す記号が、同じ「※」を使用しており、分からない。	出典を示す記号を「※1」「※2」などに修正します。	○
8	3 木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略	6 基本目標ごとの具体施策	3-7 頁 (53 頁)	意見	重要業績評価指標に示すコミュニティバス年間利用者数について、平成 26 年度の数値が成果の報告書の数値と整合がとれていない。	平成 26 年度コミュニティバス年間利用者数を「264,840 人」から「264,839 人」に修正します。	○
9	2 木津川市人口ビジョン	8.2 将来都市像	2-38 頁 (43 頁)	意見 提案	「将来目標人口について、2030 年（H42）までに国民希望出生率（1.8）、2040 年（H52）までに人口置換水準（2.1）への上昇」とあるが、国民の希望出生率を越えるような目標とするべきではない。国も、個人の生き方について介入してはいけないとしている。 また、将来目標人口は、「社会移動を将来ゼロと考える」としているが、表 8-1 の姿勢 1 には、移住・定住の促進など社会移動による人口増を図る考え方が示されている。	市民アンケート調査において、40 歳代以下の子育て世代の回答では、理想の子ども数は 2.33 人でした。市民の希望出生率は、国が示す人口置換水準を上回っていたことから、この人口置換基準を採用しました。 また、これまでの人口増の要因のひとつであった宅地供給開発も一定収束したことに伴い、今後は、転出と転入が均衡する状態になると考えています。このことから、転出により、人口が減少しないよう取り組むことが必要と考えます。	—
10	3 木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略			提案	今回の人口ビジョン及び総合戦略の記述は、今後、高齢者となる若年層や転入者等を対象としたもののように感じられる。 高齢者にも「活力あるまちづくり」に繋がる、感じられる記述とされることを望みます。	高齢者に対する施策展開も必要と考えており、これらの高齢者・福祉施策などは、市の総合計画及び分野別計画を策定し、取り組んでいるところです。 策定する総合戦略は、人口ビジョンに示す目標人口を達成するための計画であり、「子どもが住みやすいまち、どの世代も住みよいまち」という考えの下、施策を取りまとめています。 なお、活力あるまちづくりは、地域との連携が不可欠であることから、基本目標のひとつに、様々な団体によるまちづくりに係る活動の支援や、まちづくりに取り組む、取り組もうとする人材の支援・創出を定めています。	—